

# 街路樹再生なごやプラン（概要版）

～次世代へつなぐ持続可能な街路樹づくり～ 令和3年度から令和7年度まで

## 街路樹を取り巻く課題

- 大木化・老木化の進行
- 法令等に適合した道路空間の確保
- 事故リスクの増大
- 限られた予算による対応
- 災害に強い街路樹づくりへの転換



老木化による倒木



著しい根上がり

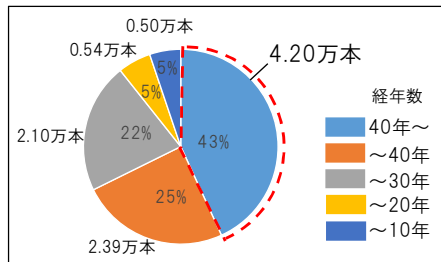


狭い歩道に植栽された街路樹



台風による被害

街路樹の経年本数(令和3年4月1日現在97,290本)



街路樹による事故発生件数の推移



## 街路樹再生の取り組み

### 街路樹再生指針 (H27年8月)

#### 目標

街路樹再生により都市と市民が輝く名古屋を創造する

事故を未然に防止し、果たすべき機能や役割が発揮できる健全な街路樹として再生することを目的とする。

これまで

早期緑化  
環境の保全・改善

量の拡大

これから

安全性の確保  
都市魅力の向上  
管理コストの縮減

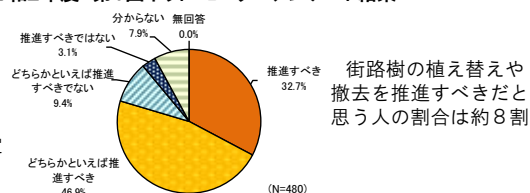
質の向上

### 街路樹再生プログラム(案)の試行 (H28～R2年度(5か年))

#### 試行した結果、判明した改善点など

- 事故リスクの高い樹種を対象として設定
- 大高木の樹高抑制の継続
- シンボル並木形成の継続
- 寄附による街路樹更新の継続
- 事業量及び事業費を明確化し、事業期間を設定
- 市民意見の反映

#### 令和2年度 第1回ネット・モニターアンケート結果



## 街路樹再生なごやプラン 計画期間：5年（令和3年度～7年度）

### 取り組みの方向性

- 果たすべき機能や役割を十分に発揮することのできる健全な街路樹
- 都市空間の価値を向上させ、市民等と共に育てる地域に愛される街路樹

維持管理の最適化

道路空間への適正配置

維持管理の質の向上

### 持続可能な維持管理

- 実行方針 1 道路空間と調和した街路樹づくり  
 実行方針 2 地域に愛される街路樹づくり

### (1) 取組手法1 更新 5,500本/5年

- 道路空間と調和した街路樹への更新
- 市民や地域に親しまれている並木道の更新
- 市民や事業者からの寄附による街路樹の更新



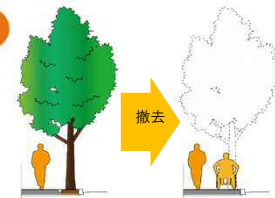
【更新前】アオギリ



【更新後】ハナミズキ

### (2) 取組手法2 撤去 3,800本/5年

- 狭幅員歩道の通行確保のための街路樹撤去
- 信号機や標識等の見通しを妨げる街路樹の撤去
- 街路樹診断等による不健全木の撤去
- 道路空間や街並みと調和のとれた街路樹とするための間伐



### (3) 取組手法3 せん定 毎年23,800本

- 健全育成のためのせん定
- 災害時の安全性確保のためのせん定
- シンボルとなる並木を形成するため質の高いせん定
- 道路空間や街並みと調和のとれた樹形に再生するせん定(樹高抑制)



シンボル並木(桜通のイチヨウ)

## 街路樹再生なごやプランの効果

### 安全性の確保

- 更新・撤去・せん定による事故リスクの低減
- 誰もが安心して通行できる良好な歩道空間の確保
- 災害時の交通ネットワークの確保
- 健全な街路樹の育成

### 都市魅力の向上

- シンボル並木による都市魅力の向上
- 美しい道路景観の創出
- 地域との連携による街路樹の魅力アップ
- 魅力ある並木道の保全・育成
- 都市空間のブランディングによる資産価値の向上

### 管理コストの縮減

- 街路樹の更新・撤去による管理コストの縮減